

歯科材料 02 歯冠材料
管理医療機器 アクリル系歯冠用レジン (70811010)

ジーシー テンプロン

【禁忌・禁止】

メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状

- ・粉末 100g
- ・液 100g (104mL)

色調 (1 色) = アイボリー

主成分

- ・粉末 : メタクリル酸エステル重合体
- ・液 : メタクリル酸エステル

原理

粉末と液を混合すると粉末が膨潤しつつ常温重合 (化学重合) により液成分のモノマーが重合し粘性が上がり重合硬化に至る。

【使用目的又は効果】

- 1) メタクリル酸エステル単量体及び重合体等を主成分とする常温重合レジンであり、歯冠部の修復及び暫間被覆冠の製作に使用する。

【使用方法等】

暫間クラウンの作り方

実質欠損のある場合は、あらかじめジーシー キャビトン (水硬性仮封材) で欠損部を充填しておきます。

- 1) 歯冠形成前の印象を、ジーシー アローマファインプラスで採得します。その際、水量をやや少なめにすれば硬い印象が得られ、あとの操作が容易になります。印象は水分の蒸発による変形を防ぐため、濡れたガーゼなどに包んでポリエチレン袋に保存しておきます。
- 2) 歯冠形成後、形成表面にうすくジーシー ジュラコート (分離材) を塗布します。この操作は、レジンの歯髄への反応を防ぎ、レジン硬化後の分離を容易にします。
- 3) 標準粉液比は粉末 1g に対し液 0.5mL です。添付の粉末計量器は 1 目盛約 1g、液用スポイトは 1 目盛約 0.5mL です。従って、粉末 1 目盛に対し液 1 目盛の比率で適量の粉液が採取できます。
- 4) 歯冠形成前の印象を取り出し、形成歯の頬側並びに舌側の歯頸部から粘膜部に至る V 字形の溝を、ナイフ又は彫刻刀で作ります。この溝は余分のレジンの逃げ道となり、クラウンが高すぎたり軸面が厚すぎたりするのを防止します。
- 5) 必要量の液をラバーカップに採り、軽く振動を与えながら適量の粉末を加えます。セメントヘラなどで、気泡を埋入しないよう約 30 秒間混和します。
- 6) 混和完了後、レジン徐徐にペースト状に移行しますが、レジンがなおクリーム状を呈しているとき (混和後 2～3 分)、セメントヘラなどを用いて形成歯の印象内に適量注入します。
- 7) 印象を口腔内に挿入、形成歯に適するよう圧接します。
- 8) 約 3 分間印象を保持して撤去します。この際、形成歯には硬化前のレジンが残存し、余分のレジンが溝からあふれ出ます。
- 9) レジンが完全硬化する前、形成歯から取り外し、約 50℃の温湯に浸漬して完全に硬化させます。またこの際、形成歯への試適と温湯への浸漬を数回繰り返しますと、適合の良い暫間クラウンが得られます。
- 10) 歯頸部周囲の余剰部分のレジンをスタンブバーなどで削除した後、最終仕上げ研磨を行います。
- 11) 完成した暫間クラウンは、ジーシー フリージノールテンポラリーバックを用いて形成歯に装着します。

暫間ブリッジの作り方

- 1) 欠損部に適合する既製の人工歯を選び、近遠心部と基底部にジーシー ユーティリティークックスを盛って固定し、対合歯との咬合関係をチェックしておきます。
- 2) 「暫間クラウンの作り方」と同様に支台形成前のアルギン酸塩による印象採得を行います。この場合、全顎トレーを使用すれば、印象を再度定位位置に戻すとき便利です。
- 3) ポンティックは印象内面に残っているため、印象を損傷しないように注意深く取り出します。
- 4) ケースに応じて、粉末と液の必要量 (標準粉液比; 粉末 1g に対し液 0.5mL) を採取します。
- 5) 採取する量の目安としては、765 の暫間ブリッジの場合、粉末計量器 2 目盛 (約 2g) の粉末と液用スポイト 2 目盛 (約 1mL) の液が必要です。
- 6) V 字形の溝の準備、粉液の混合、印象への注入、形成の終わった歯列への圧接、温湯への浸漬、完全硬化、修正などの要領は、暫間クラウンの作り方と同様です。
- 7) 完成した暫間ブリッジは、ジーシー フリージノールテンポラリーバックを用いて装着します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 混合法で使用する場合、標準粉液比 (粉/液 = 1g/0.5mL) で使用すること。必要に応じて粉液比を調整したい場合、レジンの重合収縮を最小限に抑えるため、液量は多すぎないように注意すること。
- 2) 液と粉末の混合物は、未硬化の状態で口腔内に適用する場合、硬化が完了するまでに発熱を伴うことから、温度の上昇を感じた場合には口腔外に取り外し、火傷や歯髄壊死などを起こさないように充分注意すること。
- 3) 液は揮発性を有することから、未硬化の状態で口腔内に適用する場合、鼻呼吸するよう患者に指導すること。[吸引により、気分が悪くなる可能性がある。]
- 4) ラバーカップに小分けした粉末や液は、元の容器に戻さないこと。[粉、液の変色、変質が起こる可能性がある。]
- 5) 本材を使用した硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意 (次の患者には慎重に適用すること)
 - ① 薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ① 本材の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
 - ② 本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ③ 液又は液と粉末との混合物は、直接素手で触れないこと。また、皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着したときは、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入ったときは、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
 - ④ 重合したレジンとは、水中に保存し、残留モノマーを溶出させてから、口腔内に装着すること。[過敏症を誘発する可能性がある。]

- ⑤本材は可燃性であることから、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。テーブル、床上などにこぼしたときには、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。
- ⑥液は揮発性を有することから、使用する際には適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
[溶剤が人体に影響する可能性がある。]
- ⑦他の製品と混用しないこと。[製品本来の性能が得られない可能性がある。]
- ⑧ユニファストⅢおよび他の常温重合レジン^①の粉末、液との混用（粉液の組み合わせを変えた使用）はしないこと。[重合系の違いにより、硬化物が得られない可能性がある。]
- ⑨開封後は、できるだけすみやかに使用すること。[開封後は経時変化の状況に影響を及ぼす可能性がある。]
- ⑩本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑪本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ⑫本材については、試験による MR 安全性評価を実施していない。
（自己認証による）*

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本材は火気厳禁の冷暗所に保管し、一つの保管庫に大量に保管しない。
- ・高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）を避けて保管する。
- ・保管する場所には、消火装置を備える。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。
- ・容器は、使用後すぐに密栓する。

[有効期限]

本材は、包装に記載の使用期限[※]までに使用する。

※（例 EXP. 2028-06 は
使用期限 2028 年 6 月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
住所 : 〒486-0844
愛知県春日井市鳥居松町 2 丁目 285 番地

主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー
住所 : 〒113-0033
東京都文京区本郷 3 丁目 2 番 14 号
電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480